

関東信越厚生局第4回地域包括ケア事例研究会（在宅医療・介護連携推進事業）
神奈川県令和元年度第1回在宅医療・介護連携推進事業研修会

1 概要

在宅医療・介護連携推進事業に取り組む担当者に向けて、事業に関連する医療分野の理解を深めるための情報を提供するとともに、グループワークを通じて担当者間で意見を交換し、地域包括ケアの更なる深化を目指して開催いたします。

今回は、関東信越厚生局と神奈川県の共催とし、神奈川県において開催いたしますが、神奈川県以外の関係者も参加を可能とし、広く情報交換、意見交換する場としたいと考えております。

2 日時

令和元年7月10日（水） 午後1時から午後4時45分まで
（12時30分受付開始）

3 会場

万国橋会議センター 401 会議室、402 会議室
横浜市中区海岸通4-23
みなとみらい線「馬車道」駅6番出口から徒歩4分
市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分

4 参加対象者

都県（保健福祉事務所含む）、市区町村担当職員及び当該事業の委託先担当職員 90名程度

神奈川県市町村職員及び委託先職員	60名程度
神奈川県保健福祉事務所（センター）職員	5名程度
関東信越厚生局管内他都県（保健福祉事務所含む）職員、 市区町村職員及び委託先職員	25名程度

5 内容（予定）

① 講演

(ア) 「在宅医療・介護連携における診療報酬と介護報酬」 45分程度

講師：関東信越厚生局担当職員

在宅医療と介護が連携する場面における診療報酬と介護報酬について説明。

(イ) 「(仮) 地域包括ケア病棟について」 45分程度

講師：神奈川県病院協会 役員

地域包括ケア病棟の内容、また、地域包括ケアシステムにおける同病棟の役割等について説明。

② グループワーク 120分程度

市区町村担当職員、委託先職員をそれぞれグループ化し、現状及び課題について意見交換する。